

このページは、小・中学生向け  
て梅光学院大学子ども学部子ども  
未来学科(地域共生ゼミ)の学生が  
作っています。

※イラスト 二坂佑佳さん、兒島望美さん

# しものせき キッズページ

とよた さと  
「豊田ホテルの里ミュージアムで  
しものせき しぜん ふ  
下関の自然に触れよう！」



▲豊田ホテルの里ミュージアムでは、たくさんの生き物の資料や  
模型の他、実際に生きている生き物を見ることができます。

豊田ホテルの里ミュージアムで  
はホテルをはじめ、下関を中心に  
山口県の岩石や化石、多種多様な生  
き物について知ることがができます  
今回は、皆さんの身近にいます  
類や昆虫などについて紹介します。

ニホンアマガエルと  
ニホンヒキガエル  
カエルと言えは夏の夜、どこか  
らともなく鳴き声が聞こえてきま  
す。では、カエルがなぜ鳴くのか  
考えたことはありませんか？ カエ  
ルが鳴くのはコミュニケーション  
の一つで、繁殖のために雌を呼び  
寄せ、他の雄に自分の存在を知ら  
せて自分の場所を守るのです。



カエルは種類も特徴もたくさん  
あります。例えば、ニホンアマガ  
エルはカメレオンみたいな色を変  
えられます。青・黄・黒の3色を  
混ぜていろんな色になれるので  
カエルの指は前足に4本、後足に  
5本あり、ぴよんぴよんと飛ぶイ  
メージがありますが、ニホンヒキ  
ガエルのように飛べないカエルも  
いるんです！ 飛べないカエルな  
って珍しいですよ！

カブトムシ  
カブトムシは大きく立派な角を  
持っているのが特徴ですが、この  
立派な角があるのは雄だけです。  
種類はさまざま、日本で6種類、  
世界では1500種類以上が確認  
されています。



幼虫は腐植土(腐葉土)を餌とし、  
朽木や枯葉が微生物などの働きで  
土にまで分解されたものを好みま  
す。カブトムシにも鳴き声があり、  
成虫になると雌雄ともに興奮した  
時や求愛行動中に腹を伸び縮みさ  
せて音を立てます。「シューシュー」  
「ギューギュー」「ギューインギュー  
ウィン」と聞こえます。  
子供たちに人気のカブトムシは  
成虫が7月～9月に現れます。そ  
の時期の深夜から早朝にかけて、  
山林にカブトムシを捕まえに行く

ことが、子供たちの夏休みの楽し  
みの一つであり、夏の風物詩にも  
なっています。

ムカデ類  
ムカデは「怖い」「気持ち悪い」と  
感じる人が多いですが、ちゃんと  
知ると実はとても魅力的な生き物  
です。下関で見られるムカデ類は  
「ゲジ類」「イシムカデ類」「オオムカ  
デ類」「ジムカデ類」の4つに分けら  
れます。体は頭部(頭)と胴部(体)  
に分かれ、細長く平べったいです。  
胴部には各節に1対の歩肢(足)が  
あり、少ないものは15対、多いも  
のは100対を超えます。眼を持たな  
い種類が多いです。



生息地は、山地の落ち葉や石の  
下、海岸や洞窟などです。肉食性  
のため、餌となる小動物がいる環  
境に生息しています。一部のムカ  
デには毒があり、かまれると体の  
しびれや皮膚の炎症などの症状が  
出ることもあるので気を付けまし  
よう！

★豊田ホテルの里ミュージアムに、  
ぜひ行ってみてください！  
開館時間 午前9時～午後5時  
場所 豊田町大学中村5番3号  
料金 大人200円、大学生等100円  
電話 767-03350



8月号の編集記者(左から)  
西山加純さん、二坂佑佳さん、  
東遥菜さん、水上真菜さん



▲拡大模型のヤゴ(トンボの幼虫/左)とゲン  
ジボタルの終齢幼虫(右)。



▲入り口横には実物も見られる図鑑があります。  
どんな実物があるか、引き出しを開けてみよう！